

温海地域主要事業（地域まちづくり未来事業等）一覧

意見交換資料Ⅰ

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費 (千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
基本方針Ⅰ あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興									
1	あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興	事業実施団体	新道の駅で地元産食材を活用した魅力的な商品を展開するため、地域農林漁業者、加工事業者、現道の駅等が相互連携した6次産業化組織を形成し、商品開発・試作・テスト販売を実施する	—	—	—	—	・地域内の商品開発プラットフォーム組織の設立 ・商品開発アドバイザーの委嘱、地域産食材を活用した新商品開発 ・試作品の製造、テスト販売、モニタリング	産業建設課
	【地域まちづくり未来事業】道の駅あつみ商品開発プラットフォーム事業（R7新規）								
2	あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興	事業実施団体	令和9年開業予定の新道の駅においては地元産の鮮魚等を取り扱った事業展開が期待されており、実証実験事業を通して、「漁業のまち鼠ヶ関」のイメージ構築を目指す。 ・年間60日程度 ・「紅えび」を使用した目玉商品開発	540	道の駅あつみ「しゃりん」のパザールに「さがなあや」を設置し水産加工業者等が取り組んでいる鮮魚等の実証販売を支援した。 1回目 5月31日～6月13日 2回目 9月13日～9月24日 3回目 11月8日～11月21日 4回目 1月25日～2月24日の土日祝日 2回目・3回目でアンケート調査を実施	◎	【評価】 ・丸魚は見せ魚としての集客効果はあるものの、そのままでは売れないことから、鮮度が落ちないうちに一次加工品（刺身・寿司等）として売ることができた。 【課題】 ・平日の売上が芳しくなく厳しいと感じていることから次年度は集客のある、土日祝日、ゴールデンウィーク、お盆などに絞って開催した方がよい。	・前年度までと同様に鮮魚等販売を行うが、令和7年度は土日祝日、ゴールデンウィーク、お盆等集客効果のある日程に絞って開催する。	産業建設課
	【地域まちづくり未来事業】温海地域水産物販売実証実験事業（継続）								
3	鶴岡ならではの観光の振興（訪れたい、住みたい観光地域づくりの推進）	事業実施団体	マリnparkねずがせき海水浴場の安全確保及び危険防止の対策を支援する。	920	マリnparkねずがせき開設実績 ・開設期間：7月13日～8月18日 ・入込客数：5,800人	◎	【評価】 ・マリnparkねずがせきの安全性・利便性が確保できた。 ・大雨被害による影響が懸念されたが、遊泳に支障はなく、入込客数は前年度を上回った。 【課題】 ・レジャーの多様化による需要低下や人件費・物価高騰によって中長期的な運営が厳しくなる見通しのため、安全な海水浴場設置のため、引き続き支援が必要である。	・海水浴場の安全確保及び危険防止対策に対する支援を継続して行う。	産業建設課
	海水浴場事故防止・環境整備事業（継続）								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費(千円)	令和6年度取組実績(年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
4	鶴岡ならではの観光の振興（訪れたい、住みたい観光地域づくりの推進）	市	温海地域の観光施設の維持管理に努め、観光客や利用者の利便性の向上、安全の確保を図る。 ・念珠閑跡地緑地 ・温海川河畔桜並木 ・念珠の松庭園 ・あつみ温泉足湯 ・温海嶽登山道 ・摩耶山登山道 他	4,912	・施設の維持管理業務委託を計画的に発注し、受託者が仕様に基づき業務を遂行した。また、念珠の松庭園や公衆トイレ等の破損箇所の修繕や支障木の伐採等を実施した。	◎	【評価】 ・業務を計画通り遂行した。受託者と定期的に情報共有しながら施設の環境美化を維持できた。 【課題】 ・施設等の老朽化に伴い、修繕が必要な施設が増加しているため、現状を的確に把握し計画的に修繕等を行う必要がある。	・観光地として相応しい施設の維持管理を継続して行う。また、各観光施設の現状を的確に把握し、今後のあり方を検討するとともに、計画的かつ適正な管理を行い、観光誘客を図る。	産業建設課
	観光地美化整備事業（継続）								
5	交流・連携の推進と基盤の整備（高速交通ネットワークの充実）	市 事業実施団体	・令和9年開業予定の新道の駅の運営事業者選定手続きを進める。 ・移転後における現道の駅の跡地活用等の検討を行う。 ・「道の駅通信」を定期的に発行し、本事業に関する情報提供を行う。	16,094 (市全体)	・事業者が行う設計、建設が、要求水準書や提案内容に則しているか確認を行うモニタリングや事業者協議、定例会議等で調整、確認し、事業進捗を図った。 ・基本設計策定及び事業者独自提案事項の確認（2月まで） ・DBOモニタリング契約（R6～10年度：5年間） ・地域ワークショップ開催（6～8月） ・現道の駅しゃりんの納品事業者・出荷者等事業者説明会（9月4日） ・道の駅あつみ通信発行（12月1日号） ・敷地の粗造成工事（～R7年3月31日） ・現道の駅跡地利用の基本的方針案の検討	○	【評価】 ・モニタリングや事業者協議によって、基本設計を策定・公表することができた。 【課題】 ・実施設計策定や施設着工のハード事業を着実に進める必要がある。 ・温海地域及び市内事業者等の参画や新たな商品造成など、本市の多様な食文化を生かし、温海地域及び本市全域の産業振興に繋がるよう、事業者と連携し進捗を図る必要がある。	[移転整備事業関連] ・DBO事業（設計建設）モニタリング ・鼠ヶ関川親水広場実施設計 ・駅舎建築、駐車場、外構工事発注（工期：R7夏～R8秋予定） ・事業用地の取得（土地取得及び造成工事を依頼した市開発公社からの買戻し） [地域振興事業関連] ・地域事業者と連携した商品開発、6次産業化による地域活性化 ・水産物販売実証実験事業 ・現道の駅取引事業者、出荷者、テナント業者の新道の駅への引継ぎ ・現道の駅跡地利用の基本的方針及び具体的方針の検討	産業建設課 都市計画課
	道の駅あつみ移転整備事業（継続）								
6	快適な都市環境の形成（多様な機能を有する公園・緑地の整備と保全）	市	指定管理者制度への移行を見据え、あつみ温泉の拠点施設である温海公園「ばら園」の魅力向上のため、施設の改修を進める。 ・温海公園整備工事 実施設計修正、トイレ改築 スロープ設置、防護柵改修 ステージ解体、園路改修等	35,000	①あつみ温泉魅力づくり推進委員会と意見交換や報告会実施（6月14日、10月21日、3月） ②事業実施状況 ・修正実施設計業務 ・UAV写真点群測量※業務（実施設計で不足している測量の補充） ・トイレ改築 ・概略設計業務（専門家による設計補助） ※UAV写真点群測量…無人航空機（ドローン）により地形、地物等を撮影し、その数値写真を用いて三次元点群データを作成する作業	○	【評価】 ・地元への対応は、修正設計の与条件とスケジュールの確認や意見交換を行い、地元の意見を反映し、魅力ある設計を作成できた。 【課題】 ・今後の施工は、設計に複雑な要素があるため、関係機関と連携を密にしながら、あつみ温泉の観光拠点となるよう丁寧に進める必要がある。	・実施設計に算出した事業内容について、地元と協議し予算の範囲内で内容を確定し、魅力ある施設の改修を行う。 ・事業実施は、施工に工夫が必要であり、丁寧な現場管理や関係機関との協議を通常以上に行い、新道の駅開業に合わせた供用開始を目指す。 ・温海公園スロープ設置 ・温海公園環境整備 ・バラ園ステージ解体撤去 等	産業建設課
	温海公園整備事業（継続）								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費 (千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
基本方針2 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大									
7	自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	市 事業実施 団体	人口減少が背景となって発生する諸課題の解決、地域の活性化を図るため、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材（関係人口）を、新たな「地域の担い手」として受け入れるための仕組みづくりを進める。	958	【温海地域若者ネットワーク創出】 ・11月28日(木)に秋田県五城目町の「シェアビレッジ町村」へ先進地視察。 ・2月1日(土)に「温海の未来を考える」をテーマにワークショップを実施した。地域内外の若者10名参加。講師兼ファシリテーター 伊藤大貴氏（神奈川県在住） ・地域内の若者グループと定期的にミーティングを実施。 【温海地域関係人口拡大推進】 ・温海地域の若者と首都圏等の若者で構成する団体「温海の関係人口を増やす会（略称：あつかん）」を立ち上げ、9月から活動を開始。SNSを使った広報活動やお湯興祭への参加呼び込みなどの取組を支援した。 ・2月に自主企画のイベントを開催（地域外の若者13名が温海を訪問）。イベントの一環として、鍋倉雪灯籠祭りに参加した。	△	◎温海地域若者ネットワーク創出 【評価】 ・ワークショップや先進地視察を通して、地域の若者のまちづくりに対する意識や考えを深めることができた。 【課題】 ・温海地域の若者が自主的に活動を企画するという段階には至っていないことから、もうしばらく市が主導して、若者の意識啓発を進める必要がある。	【温海地域若者ネットワーク創出】 ・実際にまちづくりに取り組む若者（県外1名、県内1名）を講師として招致し、研修会を開催。実践している取組みや、まちづくりに対する考え等を学び、温海地域における若者のネットワーク形成の契機とする。 【温海地域関係人口拡大推進】 ・「あつかん」の活動を支援。 <活動内容> ・広報活動により、地域の行事等へ首都圏の若者を呼び込む。 ・自主企画のイベントを実施。 ※現在の「あつかん」は6名（温海在住4名、首都圏在住2名）で構成されているが、さらに仲間を増やしていきたい。	総務企画課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域支援ネットワーク推進事業（継続）						◎温海地域関係人口拡大推進 【評価】 ・10月のお湯興祭りに12名、2月の自主企画イベントには13名の地域外の若者が参加するなど関係人口の増加に貢献している。 【課題】 ・継続性のある事業となるような工夫が必要である。		
8	自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	市 あつみ福祉 社会 事業実施 団体	都市圏在住で、子どもの教育に熱心な親世代に、自然豊かな地での保育、体験の場を提供し、親子と温海地域との関わりしるを作り、移住・二地域居住を目指す。	6,190	・5月～2月までの期間で、首都圏を中心に14家族を受入れ。 ・宿泊先に「民宿丸武」を追加。 ・庄内町でも同様の事業を行っていることから、意見交流会を実施。 ・宿泊受入先の新規開拓。 ・広報への掲載等、保育園留学の情報発信。 ・外国人家族の受入や小学生留学の受入など、事業拡大に向けた検討。	◎	【評価】 ・受入家族及び人泊数は14組、285人泊（うちリピーター2組42人泊）となり、目標を上回った。夏の集客が多く見込まれていたが、冬の利用も多く、年間を通した受入となった。利用者からも、保育園・宿泊先・温海地域での体験について高評価を得ている。 【課題】 ・保育園留学の情報発信を強化する必要がある。 ・現時点で宿泊先が2カ所であることから、安定した受入体制の構築を図るため、宿泊先の新規開拓が必要である。	・5月から受入開始。目標を10家族、180人泊に設定し事業継続。 ・7月中旬から8月一杯までの期間限定で、新規宿泊先での受入を実施予定。 ・事業報告会（地域住民向け）の実施を検討し、地域住民への周知を図る。	総務企画課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域家族まるごと移住体験事業（拡充）								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費(千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
9	自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	温海生涯学習振興会	地域の教育環境の充実のため、地域おこし協力隊を1名配置し、地域と学校の連携・協働による中学校への学習支援の充実や、新学習指導要領にも定められた「生きる力」「非認知能力」を育む教育を推進する。	5,054	地域おこし協力隊員の活動を支援した。 【ミッション】 ・「あつみ地域未来塾」コーディネート ・「生きる力を育む教育」推進のサポート ・温海生涯学習振興会が実施する生涯学習事業の企画・運営 特筆事項 ・未来塾終了後等における自習室開放 ・公民館等を活用した「自習カフェ」	◎	【評価】 ・課題達成に向けて、既存の手法にとらわれず精力的な取組が展開された。 【課題】 ・隊員の任期満了を見据えた起業や定住へのサポートに加え、教育機関と連携した事業展開が必要である。	地域おこし協力隊員の活動を支援する。 (令和7年度は3年目) ・ミッションに加え、自習室開放等を展開 ・多世代交流フリースペースの試行運営 ・起業に向け、キャリアコンサルタントの資格取得 ・活動報告会	総務企画課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域教育環境充実事業（継続）								
10	自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	事業実施団体	SDGs教育旅行や体験型観光の受入を行うNPO法人の誘致活動等を支援し、交流人口の拡大と着地型観光の促進を図る。	2,400	○令和7年1月末現在の受入実績 ・教育旅行受入校数1校、151名（宮城教育大学付属中学校2年生） ・一般個人、団体受入数1,119名 ○キャンプ事業の実施（10月末まで） ○仙台市内旅行代理店への営業活動（冬季）	△	【評価】 ・あつみ温泉旅館と提携し、温泉宿泊者に対する体験メニューの割引に取り組み、今年度は新たに1旅館を加え2旅館と事業を展開することができた。 【課題】 ・教育旅行受入校数の減少によって、NPOの法人経営が厳しい状況にある。新たな教育旅行の開拓や、収益確保に向けた取組の強化が必要である。	・教育旅行受入れ数の拡大 ・キャンプ事業の受入れ拡大 ・代理店等への訪問営業の推進 ・農業体験など新体験メニュー造成	産業建設課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域体験旅行推進事業（継続）								
11	自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	市事業実施団体	日沿道全線開通後も観光客に選ばれる観光地を目指し、温海地域の魅力が詰まった観光プログラムの造成、あつみ温泉街の魅力づくり及び観光情報発信力の強化を図る。事業実施にあたっては、地域おこし協力隊制度を活用する。	0	・令和6年度での地域おこし協力隊員の再配置に向けて検討を行ったが、あつみ観光協会が必要とする人材について、協力隊制度を活用することがすぐわかないことから、制度活用を見送った。	×		なし	産業建設課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域魅力創造発信事業（休止）								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上 の位置付け	事業 主 体	事業内 容	R6事業費 (千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
基本方針3 地域特性を生かした農林水産業の振興									
12	地域経済を支える農業生産の拡大 (中山間地域農業の活性化)	市	農地が適切に利用されるように担い 手等への集約化や今後の農業の将来 像について地域で話し合いを行った 結果を令和6年度末までに地域計画と 一筆毎の耕作者を明確にした目標地 図として作成する。	14,925 (市全体)	・温海地域の地域計画(案)と農業委員 会サポートシステムを使った目標地図 素案を作成し、温海地域の各集落で話 し合いを実施した。 ・令和6年12月末までに協議の結果をま とめ、7年1月17日に公表した(HP掲 載)。 ・3月5日から19日に地域計画の案の公 告を実施し(2週間縦覧)、3月25日に市 が公告を行う。	○	【評価】 ・地域要望を踏まえ、地 域の総意的な計画とす ることができた。 【課題】 ・温海地域は1つの計画 のため個別集落の要望、課 題への対応を工夫する必 要がある。	・地域計画に定めた方針に基づき、 進捗状況の確認を行う。地域と協力 して地域計画の実現に向け、具体的 な取組を実施する。 ・地域の個別課題等は、今後計画を 修正し対応する。 ・地域での協議を複数回開催し、計 画変更にも対応しながら、年1回以 上の更新を行う。	産業建設課
	地域計画策定推進事業(継続)								
13	地域特性を生かした農林水産業の 振興	市 事業実施 団体	在来作物である「焼畑あつみかぶ」 について、焼畑あつみかぶブランド 力向上対策協議会が取り組む活動を 支援し、更なるブランド化と生産振 興、後継者育成を図る。 ・焼畑あつみかぶチャレンジ支援 ・焼畑地へのスギ葉供給 ・プロモーション活動への支援 ・作業労働者確保への支援	892	焼畑あつみかぶブランド力向上対策協 議会の活動を支援した。 ・焼畑あつみかぶチャレンジ支援(栽 培チャレンジサポート事業)の実施 (対象:2団体) ・焼畑地へのスギ葉供給(スギ葉マッ チング事業)の実施(申込数:15個 人)。 ・労働力確保事業の実施。 ・農林水産イベントでのPR。 ・ポスターなどの販促ツール作成。	○	【評価】 ・焼畑あつみかぶの販売 単価が255円となるなど、 総合計画のKPI(230円) を達成することができ た。 ・令和6年度の生産数量 は、大雨の影響で約62tと なり、目標値の110tに届 かなかった。 【課題】 ・生産者の高齢化や近年 頻発する高温、大雨など の異常気象でも安定した 生産数量を確保する必要 がある。	・生産数量の目標値を達成するた め、チャレンジサポート事業や労働 力確保事業など事業を支援する。 ・異常気象に対応した栽培方法を検 討する実証事業など新しい取組を支 援する。	産業建設課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域在来作物振興事業 ①焼畑あつみかぶの振興 (継続)								
14	地域特性を生かした農林水産業の 振興	市 事業実施 団体	在来作物である「越沢三角そば」に ついて、まやのやかた越沢三角そば 生産組合が取り組む活動を支援し、 「越沢三角そば」の振興による交流 人口の拡大を図る。 ・打ち手育成支援 ・首都圏等でのプロモーション活動 ・品質確保に向けた活動	379	まやのやかた越沢三角そば生産組合が 取り組む活動を支援した。 ・栽培講習会などの品質確保に向けた 活動の実施(7月) ・チラシやのぼり旗などの販促用資 料、物品の作成と購入。 ・首都圏等でのプロモーション活動の 実施(2月、東京)。 ・そば打ち講習会の開催。 ・新そばの時期に合わせた温海地域内 でのプロモーションの実施。	◎	【評価】 ・栽培面積は159,000㎡を 超えるなど、総合計画の KPI(150,000㎡)を達成 することができた。 【課題】 ・組合員が高齢化してい り、人数の減少や栽培面 積の減が懸念されるた め、組織体制や生産体制 の検討が必要である。	・組合の法人化や集落営農など組織 体制や生産体制を検討するため、先 進地視察等への活動を支援すること で、栽培面積の維持や拡大への活動 を図る。	産業建設課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域在来作物振興事業 ②越沢三角そばの振興 (継続)								
15	あつみ温泉と道の駅を拠点とした 地域振興 地域特性を生かした農林水産業の 振興	事業実施 団体	新たな道の駅を見据え、少量多品種 の農産物等の生産振興を図るため、 販売活動の推進と地産地消の拡大に 向け、令和4年設立された産直活動組 織「あつみ旬菜会」の活動を支援す る。 ・産直活動円滑化支援 ・販売活動活性化	215	産直活動組織「あつみ旬菜会」の活動 を支援した。 ・「あつみ旬菜会」に対し補助金を交 付。 ・道の駅「あつみ」しゃりんのイベン ト等へ農産物などの出荷や販売を行っ た。 ・8月22日に集会を開催し、新道の駅に 整備予定の6次産業化施設について情報 共有を行った。 ・9月5日に道の駅うご「端縫いの郷」 (秋田県羽後町)へ視察研修を行った。 ・令和7年2月27日に総会及び品質管理 研修会を開催した。	○	【評価】 ・新道の駅に整備予定の6 次化施設についての情報 共有や6次化施設のある道 の駅の視察研修などを行 い、先行事例を学ぶこと ができた。 【課題】 ・地域外(旧山北)から の入会もあったが、会員 の高齢化などで農産物等 が集荷に結び付きにくい 状況が依然として続いて おり、集荷体制の強化が 必要である。	・視察研修や農産物の品質管理研修 会など「あつみ旬菜会」の産直組織 活動の円滑化や販売活動とともに、 会員の6次化加工に向けた取組を支 援する。	産業建設課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域小ロット農産物生産振興 事業(継続)								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費 (千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
16	地域経済を支える農業生産の拡大 (中山間地域農業の活性化)	事業実施団体	中山間地域における営農活動の条件不利を補正するため集落協定に交付金を交付し中山間地の農業を維持する。	277,189 (市全体)	各協定ごとに活動中であり、交付金については第1回目を7月3日支払済みで、2回目を2月19日に支払い予定である。集落戦略に関しては、各協定の変更箇所について対応を行っている。その他第5期最終年度にあたる交付金の取扱いについて適宜説明を行っている。 ・1月末に第6期の交付金説明を含めた集落協定代表者説明会を開催。 ・第5期対策最終年度の事務処理等を遅滞なく行う。	○	【評価】 ・交付金支払いや集落戦略の作成を補助することで、条件不利地域への活動支援を行うことや、農地の将来像や担い手確保についての話し合いの場を創出することができた。 【課題】 ・各協定において、農業者の高齢化が進んでおり、耕作者や耕作農地が依然として減少傾向にあり、これらを維持するための取組が必要である。	・令和7年度より第6期対策(R7～R11)となるため、条件不利地域でも営農活動を続けていけるよう支援する。 ・第6期対策において交付金10割単価とするには「ネットワーク化活動計画」の作成が必要となるため、各協定に対し作成補助する。 ・第6期対策のテーマとして「ネットワーク化」が挙げられているため、各協定間または多様な組織との連携を図り、営農活動の維持や担い手確保に繋げられるように支援する。	産業建設課
	中山間地域等直接支払交付金事業 (継続)								
17	地域経済を支える農業生産の拡大 (中山間地域農業の活性化)	市 事業実施団体	電気柵等の追い払い用機材の購入費や狩猟免許取得に係る経費の一部補助を行う。また、鶴岡市鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の捕獲、追い払いを行い、有害鳥獣による農作物被害を防止する。	19,501 (市全体)	【農作物被害対策】 ・電気柵設置補助17件(実績報告済) ・鳥獣被害防止地域活動補助1件(実績報告済) ・不要果樹伐採補助1件(実績報告済) ・各集落に追い払い用火火を配付 【有害鳥獣の捕獲活動の支援】 ・狩猟免許取得補助5件 (内4件変更(廃止)済、1件実績報告済) 【捕獲実績】 ・サル(61頭)、イノシシ(66頭)、シカ(2頭) 令和7年度要望調査の結果をとおり、今後もより多くの被害対策を講じられるよう適宜意見集約に努める。 ・イノシシ被害が特に拡大しているため、電気柵設置促進や、低予算で行える被害対策等についても検討を行う。	○	【評価】 ・新規狩猟者の増加や、鶴岡市鳥獣被害対策実施隊と連携することで、有害鳥獣による被害防止対策を行うことができた。 ・有害鳥獣捕獲による農作物被害の防止を一部図ることができた。 【課題】 ・被害防止対策や有害鳥獣捕獲実施により、一部被害防止に繋がっているが、農作物等の被害は依然として拡大傾向であり、継続した対策が必要である。	・有害鳥獣による農作物被害が拡大しているとともに、畦畔や農地等の圃場への被害も近年多く発生しているため、鶴岡市鳥獣被害対策実施隊と連携し、引き続き被害防止対策や有害鳥獣捕獲への支援を行う。	産業建設課
	鳥獣被害対策事業（継続）								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費 (千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
18	効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり (木材生産の拡大)	市	森林環境譲与税を活用し、雨水排水施設等の設置による林道災害予防と曲線部の改良による路網整備等を行う。これにより、適正な森林経営と循環システムの構築・地域資源としての森林の利活用を図る。	10,200 (市全体)	・木材搬出道路改良工事(本所予算) ※森林環境譲与税活用 温海小国地区農道改良工事 令和6年9月～12月 事業完了 2,688千円 ・林道災害予防業務委託 林道戸ノ浦線(暗渠土砂撤去) 102千円 8月事業完了 ・林道布滝線(止水板) 229千円 11月事業完了 ・林道桂谷線(止水板) 496千円 11月事業完了 ・林道越渡線(止水板) 3月実施	◎	【評価】 ・小国地区農道改良工事について、曲線部を改良し大型車が通れるように改良できた。 【課題】 ・林業機械の大型化が進んでおり、幅員の狭い道路や耐荷重が低い道路は木材搬出のための道路改良が今後必要である。	・林道改良工事(本所予算) ※森林環境譲与税活用 林道木ノ下線(山五十川地内) L=250m	産業建設課
	森林環境譲与税活用事業(継続) ・林道改良工事費 ・木材搬出道路改良工事費								
19	効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり (木材生産の拡大)	事業実施団体	森林の集約化施業や再造林・保育事業を支援し、森林整備の推進を図る。	82,456 (市全体)	・森林環境譲与税活用間伐推進実施事業費補助金 利用間伐 53.0ha 作業道 6,300m 関川・戸沢・小名部 6月3日 52,282千円 ・森林環境譲与税活用事業費補助金 下刈り23か所 49.65ha 5月20日 5,535千円 ・森林環境譲与税活用間伐推進実施事業費補助金 事業期間 6月10日～令和7年2月28日 ・森林環境譲与税活用事業費補助金 事業期間 5月23日～11月30日	◎	【評価】 ・林業事業体で年次計画に沿って計画通りに間伐や下刈りを行うことができた。 【課題】 ・今後も林業事業体を実施する間伐や下刈り等の事業に対する支援が必要である。	・森林環境譲与税活用間伐推進実施事業費補助金 間伐 36.0ha 作業道 4,500m ・森林環境譲与税活用事業費補助金 間伐40.0ha 下刈り 54.67ha	産業建設課
	森林環境譲与税活用事業(継続) ・民有林間伐再造林促進補助金								
20	効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり (森林の保全)	市	松くい虫被害木の伐倒駆除と松くい虫被害から守るための防除(薬剤の葉面散布による防除)を行い、松林景観の維持を図る。	1,007	・松くい虫防除事業(葉面散布) 暮坪～鼠ヶ関の海岸線中心6箇所 5月～6月実施 385千円 事業完了 ・松くい虫防除事業(伐倒駆除) 五十川～鼠ヶ関の海岸線 2月～3月実施622千円	◎	【評価】 ・被害木の伐倒駆除と、被害から守るための防除(薬剤の葉面散布)を行ったことにより景観維持につながった。 【課題】 ・高温によって松くい虫の被害が拡大してきており、今後も景観維持のために防除が必要である。 ・近年被害が多く全て防除はできず、優先順位をつけて事業行わなければならない。	・松くい虫防除事業(葉面散布) 暮坪～鼠ヶ関の海岸線 6月実施予定 ・森林病虫害被害木調査 五十川～鼠ヶ関の海岸線 本所予算で11月実施 ・被害木伐倒駆除事業 五十川～鼠ヶ関の海岸線 2月実施予定	産業建設課
	森林病虫害等防除事業(継続)								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費(千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
21	効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり (担い手の育成・確保)	市	小学生から一般市民、漁業者などが参加し、森林学習や森づくり活動の体験等を行い、森林に対する理解を深めると共に、森林資源の有効活用と後継者の育成を図る。 ・天魄山森林自然教室 ・鼠ヶ関小学校森林環境教室 ・山の活動体験事業 ・ねずがせき魚の森づくり活動	1,145	【天魄山森林自然教室】 ・7月森の恵み学習、森の保全活動 ・8月焼畑あつみかぶ生産活動(焼畑・播種) ・11月焼畑あつみかぶ生産活動(収穫・漬込み)、サケ生産活動の学習 ・2月サケ稚魚の放流体験 【鼠ヶ関小学校森林環境教育事業】 ・6月自然教室 ・9月竹林整備体験、焼畑あつみかぶ栽培体験(焼畑・播種) ・10月竹細工体験 ・11月焼畑あつみかぶ栽培体験(収穫・漬込み) 【ねずがせき魚の森づくりの会】 ・7月第1回魚の森づくりの会 下刈り作業 ・10月第2回魚の森づくりの会 下刈り作業 【山の活動体験事業】 ・9月サラリーマン林太郎	◎	【評価】 ・森林学習や森づくり活動の体験を通して、森林機能に対する理解を深め、環境保全に取り組む意識の醸成を図ることができた。 【課題】 ・悪天候等により一部事業内容を変更して開催する場合がある。そのような場合でも十分に森林環境に対する学びを深めることができるよう、事業内容の検討が必要である。	【天魄山森林自然教室】 ・7月森の恵み学習、森の保全活動 ・8月焼畑あつみかぶ生産活動(焼畑・播種) ・11月焼畑あつみかぶ生産活動(収穫・漬込み)、サケ生産活動の学習 ・3月サケ稚魚の放流体験 【鼠ヶ関小学校森林環境教育事業】 ・6月自然教室 ・9月竹林整備体験、焼畑あつみかぶ栽培体験(焼畑・播種) ・10月竹細工体験 ・11月焼畑あつみかぶ栽培体験(収穫・漬込み) 【ねずがせき魚の森づくりの会】 ・7月第1回魚の森づくりの会 下刈り作業 ・10月第2回魚の森づくりの会 下刈り作業 【山の活動体験事業】 ・9月サラリーマン林太郎 【シン林業セミナー】年6回開催 温海町森林組合(本所予算)	産業建設課
	森林環境教育推進事業（継続）								
22	効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり (木材生産の拡大)	市	山形県による代行事業として、楨代と早田を連結する新たな基幹林道を開設する。 市は、事業の進捗に応じて用地取得及び支障木伐採等を行う。 (計画期間：平成28年～令和7年)	7,500	【早田地区】 ・立木調査 ・立木補償 ・用地測量 ・用地買収 ・所有権移転登記 ・支障木伐倒搬出 【林道工事の推進】 ・鶴岡市重要事業として、県へ要望	◎	【評価】 ・県の工事に支障がないように対応できた。 【課題】 ・令和7年度までの事業計画であり、国の事業評価後、計画延長予定であるが、引き続き状況確認と事業要望が必要である。	【早田地区】L=500m ・立木調査 ・立木補償 ・支障木伐倒搬出 【林道工事の推進】 ・鶴岡市重要事業として、県へ要望	産業建設課
	林道念珠関線開設事業（継続）								
23	地域特性を生かした農林水産業の振興	事業実施団体	国の伝統的工芸品に指定されている「羽越しな布」の後継者育成や原材料の確保、需要の拡大等に資する取組を支援し、保存・伝承を図る。	1,044	【後継者育成事業】 ・しなの木の保育、原材料採取研修 ・糸づくり研修会(月2回) 【需要開拓・販路開拓事業】 ・首都圏等での展示会への参加 ・都市部での普及促進や需要拡大(福島・埼玉・大阪)	○	【評価】 ・羽越しな布振興協議会に対し、補助金交付による支援を行ったことで、当該団体はしな織の保存・伝承、需要拡大のための事業を展開することができた。 【課題】 ・予定の事業は実施済みであるが、後継者不足の解消には至っていないため、今後も後継者育成が必要である。 ・需要開拓・販路拡大は原材料不足の影響で積極的な新規販路拡大や新商品開発に着手できていないため、組織体制の強化が必要である。	・羽越しな布振興協議会が行う「羽越しな布」の後継者育成や原材料確保、需要拡大等に係る事業に対し、補助金交付による支援を継続する。また、実施団体の組織弱体化が著しいことから、後継者不足解決のための仕組みづくり、組織体制強化について提案、助言を行う。	産業建設課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域伝統的工芸品振興事業（継続）								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費 (千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
基本方針4 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備									
24	次代を担う人づくりの推進（適正な教育環境の整備）	高校生等保護者等	温海地域から中学・高等学校等に通学する生徒を持つ世帯に対し、通学費の一部を支援することで、家庭の負担を軽減し、地域への定住化を図る。 ※申請交付手続きのデジタル化 ※致道館中学校・高等学校開校により、対象を中学生に拡大 (令和6年度から全市展開)	21,624 (市全体)	【補助金交付】※4～2月受付分 ・申請件数87件(実人数42人) うちLINE申請71件（利用率82%） ・交付決定87件 うち電子交付62件（利用率71%） ※実績見込み 申請件数 約100件(実人数52人) 【周知】 ・制度や申請手続きについて、市ホームページ、市広報や庁舎からのお知らせによる周知を行った。 ・致道館中学生、高校生の保護者の方へ学校を通して通学費支援制度の周知を行った。	◎	【評価】 ・制度の周知や申請・交付のデジタル活用マニュアルを作成し、申請手続きをサポートしたことから、LINE申請・電子交付の利用が増加し保護者等の負担軽減を図ることができた。 ・内閣府のホームページで「デジタルを活用した出産・子育ての支援」の事例として取組が紹介された。 【課題】 ・引き続き、通学費支援制度や電子申請・交付手続きの周知と申請に係るサポートによって保護者等の負担軽減を図る必要がある。	通学費支援制度の周知と保護者等の申請・交付手続きをサポートし保護者等の負担軽減を図る。 ・市ホームページ、市公式LINE、市広報や庁舎からのお知らせ等で通学費支援制度を周知する。 ・窓口で申請で来られた方へデジタル活用も含めたサポートを行う。 ・致道館中学生、高校生の保護者の方へ学校を通して通学費支援制度のチラシを配付する。	総務企画課
	高校生等遠距離通学費支援事業（継続）								
25	交流・連携の推進と基盤の整備（公共交通ネットワークの形成）	協議会	乗合タクシー運行を支援する。地域住民や関係団体の声を反映させた運行と、地域住民への周知を強化することで利用拡大を図り、持続可能な公共交通を目指す。	21,770	・温海地域公共交通運営協議会の乗合タクシー運行事業（定時定路線の戸沢線、平沢線、予約式の関川線の3路線）を支援した。 ・各集落の百歳体操、地区自治会長会、民生児童委員連絡協議会など22箇所において、利用状況、お得情報、モデルルート等について説明を行った。 ・利用状況、事務局や運転手の紹介、利用者の声等を掲載した「湯ったり号通信」を初めて発行し全戸配布した。	◎	【評価】 ・年々利用者が減少傾向にあったが、令和7年2月末までの利用者は前年度に比較し152人増加。各取組みによって、乗合タクシーに関心や親しみを持ってもらい、利用する際の心理的なハードルを下げることができた。 【課題】 ・利用拡大に向けて、JRや路線バスとの接続を考慮した時刻表の見直し等が必要である。	・乗合タクシーの利用目的は通院や日常的な買い物が多いが、日帰り温泉入浴や食事等娯楽でのおでかけにも利用してもらえるような取組みを検討する。 ・地域住民から身近で気軽に利用できる公共交通と認識してもらえるように、引き続き、各集落や各団体での説明会や湯ったり号通信の発行を行う。 ・利用者の意見やJRの乗継を考慮し、時刻表の改正や経路の見直しを行う。	総務企画課
	温海地域公共交通運営事業（継続） (乗合タクシー運行事業)								
26	地域における人づくりの推進（市民の多様な学習活動の推進）	各地域学校協働本部	【あつみ小学校】 ・登下校の安全確保・学習支援 【鼠ヶ関小学校】 ・学習支援・郷土学習・環境整備 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾	2,500 (市全体)	【あつみ小学校】 ・見守り隊の保険加入（61名）、読み聞かせ（17名）による学習支援。 【鼠ヶ関小学校】 ・放課後児童クラブの実施。 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾の開講。（8月17日～2月22日全20回） (3年生36名中33名が受講) ・通塾困難者に対する支援としてオンライン配信を実施。 ・欠席理由の把握のため、欠席の連絡方法にメールを追加（これまでは電話のみ）。	◎	【評価】 ・概ね予定していた活動を実施できた。 ・あつみ地域未来塾終了時における平均出席率は、令和5年度が66%であるのに対し、令和6年度は72%に増加した。 【課題】 あつみ地域未来塾の通塾困難者に対する支援を強化する必要がある。	【あつみ小学校】 ・登下校の安全確保 ・読み聞かせによる学習支援。 【鼠ヶ関小学校】 ・放課後児童クラブの実施。 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾の開講。 ・あつみ地域未来塾の通塾困難者に対する支援の検討。	総務企画課
	地域学校協働活動推進事業（継続）								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費(千円)	令和6年度取組実績(年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
27	海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	市	温海地域の豊かな自然と文化資源を生かし、「生きる力」を高め豊かな心を育む教育（SEL）プログラムを実践するための環境整備に取り組む。あつみ福祉会との連携を継続し、年長園児の交流や講師による各園訪問指導を実施するとともに、学校教育への導入を進めるため、市教委地域担当指導主事と連携し、小中学校教職員を対象とした研修会を実施する。 本取組を積極的に情報発信する。	1,316	温海地域SEL教育アドバイザー業務委託契約締結し、三森朋宏氏を講師とした研修会等を実施。 ・保育園SEL研修、訪問指導 ・小中学校SEL研修、訪問指導 ・プロジェクトチーム会議開催 ・年長児交流事業（自然活動の中で育む交流保育） ・温海地域3校合同研修会 ・地区別SEL研修会 ・SEL教育オンラインセミナー（実践者による事例発表）	○	【評価】 ・地域住民を対象とした「地区別SEL研修会」は、本取組を地域全体で共有する観点で効果があった。 ・オンラインセミナーの開催は、本取組の情報発信に貢献できた。 【課題】 ・授業へのSEL取込を実践するため、SEL教育の理解者を増やす必要がある。 ・関係機関、保護者、地域住民の理解を更に深める必要がある。	温海地域SEL教育アドバイザー業務委託契約締結し、三森朋宏氏を講師とした研修会等を実施。 ・年長児交流事業（自然活動の中で育む交流保育） ・保育園SEL研修、訪問指導 ・小中学校SEL研修、訪問指導 ・プロジェクトチーム会議開催 ・年長児交流事業（自然活動の中で育む交流保育） ・温海地域3校合同研修会 ・地区別SEL研修会 ・SEL教育オンラインセミナー（実践者による事例発表） ・教職員対象SEL特別研修会（新規）	総務企画課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域自然資源を生かした教育環境整備による定住促進事業（継続） ※R7名称変更 温海地域生きる力を育む教育推進事業（継続）								
28	海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	福栄養蚕振興会	福栄養蚕振興会による養蚕の取組を支援し、「鶴岡シルクタウンプロジェクト」の推進と地域活性化、高齢者の生きがいづくりを促進する。	783	福栄養蚕振興会の活動を支援した。 【活動内容】 ・春蚕、初秋蚕、晩秋蚕、晩々秋蚕の4期に分けて稚蚕飼育を実施。（春蚕期、晩秋蚕期は松ヶ岡産業㈱への出荷用の幼虫も飼育） ・飼育した蚕を松ヶ岡産業㈱や県内各農家等へ出荷。 ・晩々秋蚕期の繭を鶴岡シルク㈱に出荷する予定であったが、蚕の病気に伴って出荷を中止。	△	【評価】 ・繭の出荷はできなかったが、本事業は、鶴岡市の養蚕を絶やさないために必要不可欠なものである。 【課題】 ・養蚕技術の後継者がいないため、後継者を育成する必要がある。	引き続き福栄養蚕振興会の活動を支援する。 【活動内容】 ・稚蚕飼育を実施し、県内各農家等へ出荷。 ・松ヶ岡産業㈱への幼虫の出荷。 ・令和8年度以降の実施体制の検討。	総務企画課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域養蚕環境整備事業（継続）								
29	海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	市	地域で暮らす高齢者等が集うことにより、フレイル予防、引きこもり防止が期待され、交流・会話することによって互いの困りごとや安否確認ができるとともに、住民同士の助け合いの意識が高まることを目的として事業実施する。	—	—	—	—	高齢者等の集いの場などが確立されていない集落（令和6年度時点では10集落）に対して、自治会や民生児童委員の協力のもと高齢者等に声かけを行い、年間3回程度テーマを設け集いの場を創出する。 ・お茶のみサロン、フレイル予防、地域外研修活動の実施。 ・令和7年度は、4集落で実施。 ・事業期間は3か年とし、10集落で実施。	市民福祉課
	【地域まちづくり未来事業】 温海地域支え合い訪問活動事業（R7新規）								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費(千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
30	資源循環型社会の形成 (ごみ減量・資源化の推進)	市	地域内の各家庭より排出される家庭ごみ（一般廃棄物）の収集運搬業務を委託する。 また、温海地区衛生組織連合会の集団資源回収を支援し、古紙や瓶を別途回収し一般廃棄物の削減を図る。	443,823 (市全体)	ごみの減量化、再資源化の推進を目的として、ごみ処理施設見学会3回、ごみ分別講習会を5回開催したほか、啓発チラシの作成、全戸配布を2回実施した。 また、今年度重点的に取り組んでいる古紙の適切な排出を進めるため、古紙回収日にあわせて資源回収ステーションの巡回指導を4月、8月、年末年始の3回実施しており、3月にも実施を予定している。 令和6年度の家庭ごみの収集量は対前年比で可燃が△3.8%、不燃は△5.0%であり、逆にプラ・ペット、びん・缶類の資源物が増加している。家庭ごみ全体の排出量が減少する中で、資源物の割合が前年同期8.02%に対し8.27%と増加している。	◎	【評価】 ごみ処理施設や見学会の実施や啓発チラシを定期的に配布したことによって、資源物、一般廃棄物の分別が概ね徹底された。再資源化への理解が深まっているものと考えられる。 【課題】 ごみの処理や再資源化に興味のある方の見学会や講習会への参加や問い合わせは増加傾向にあるものの、より再資源化への理解を促進するため、見学会等の実施や啓発を継続する必要がある。	・ごみ減量、再資源化の意識高揚のため、ごみ分別講習会、ごみ処理施設見学会を各自治会の協力を得て定期的に開催する。 ・啓発チラシの作成、全戸配布によって、分別方法の周知を図るほか、パネル展示の実施等、機会を捉えて啓発活動を実施する。 ・年間計画に基づき四半期に一度、強化月間を定めて古紙集積所の早朝巡回指導を実施する。	市民福祉課
	塵芥収集事業 (継続)								
31	子ども・家庭・地域がともに健やかに育つ環境の充実 (子育て世代の負担軽減)	事業実施団体	保育園の統廃合に伴う保護者負担軽減のため、あつみ福祉会が行う保育園通園事業に対して経費の一部を補助する。	19,104	延べ運行回数 あつみ保育園：海側・山側504回 鼠ヶ関保育園：504回 利用者 あつみ保育園 4月 5月 6月 8月～ 13名 15名 14名 13名 鼠ヶ関保育園 4月 6月 7月 8月～ 4名 5名 6名 5名 あつみ保育園海側運行に用いる車両を更新し、1往復での送迎が可能となった。	◎	【評価】 遠方からの通園に伴う費用と時間の負担を最小限に抑え、利用者の増減に応じて車両を変更したことで保護者の負担軽減と市の補助金支出の抑制が図られた。 【課題】 引き続き、通園に伴う保護者の負担軽減と、利用者の増減に応じた使用車両の変更を調整し経費の削減に努める必要がある。	利用予定に基づいた従来通りの補助金の交付。 〈参考〉 あつみ保育園 海側 ジャンボタクシー 山側 小型タクシー 鼠ヶ関保育園 ジャンボタクシー	市民福祉課
	民間保育所等への各種補助事業 (温海地域保育園通園事業補助金) (継続)								
32	子ども・家庭・地域がともに健やかに育つ環境の充実 (子どもの居場所づくりの推進)	市 事業実施団体	保護者が就労等により留守になる小学生を対象とした放課後児童クラブの運営を支援し児童の健全育成を図る。 (あつみ保育園に併設するあつみっこクラブ) ※利用料月額6,500円（長期休暇、2人目以降等加算有）	462,006 (市全体)	登録者数46名 長期休暇は8:00～18:30開所 上記以外はあつみ小学校退校時刻～18:30保育を行っている。 また、小学校の臨時休校や振替休日時は開所し対応している。 ・あつみっこクラブの増築について、補助事業の採択を目指し検討を進める。 ・運営に関しては、継続的に安心・安全に保育を行う。	◎	【評価】 児童が放課後に、安心安全に過ごすことができる環境を整備し、児童の健全育成の向上につながった。 【課題】 定員30名に対し、登録者数が46名となっており、特に長期休暇による利用においては狭隘化が問題となっているため、受入環境の整備について検討が必要である。	児童の減少は今後も続く見通しの中、核家族化によって令和7年度は、前年以上の利用者数が見込まれる。 〈参考〉 登録者数、利用者数を鑑みて将来的な利用方法、利用時間等を考慮し施設の増築も視野に入れながら関係機関との調整を行う。	市民福祉課
	放課後児童対策事業 (継続)								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上の位置付け	事業主体	事業内容	R6事業費 (千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事業名					達成度	評価・課題		
33	こころと体の健康づくりの推進 (生活習慣病やがんの予防推進)	市	糖尿病、循環器疾患などの生活習慣病の予防やがんの早期発見のため、年1回の定期的な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と高齢期における健康保持を目指す。	185,859 (市全体)	・集団健診は予定した16回を実施。 ・集団健診会場で保健指導を実施。 ・次年度の特定健診とがん検診の意向調査実施。 ・山形運輸支局酒田庁舎からの依頼を受けて山形県漁協念珠関総括支所で漁業従事者を対象に鶴岡市こころのサポーター研修を実施した(新規)。 ・うつ病について正しい理解の周知啓発と相談に関係機関と取り組んだ。 ・温海地域保健推進委員会とともにあつみ健康のつどいを開催し、山北徳洲会病院医師から「高血圧の予防と治療」について講演いただいた。	◎	【評価】 ・健康課や荘内地区健康管理センターと連携し、各地域で実施の集団健診について、実施の周知が徹底され受診環境が整った。 ・こころと体の健康づくり(生活習慣病、がん予防)事業について、地域や事業所からの事業実施依頼にすべて対応できた。 ・あつみ健康のつどいを開催し、「高血圧の予防と治療」について学び正しい知識を得ることができた。 【課題】 ・人口減少に伴う受診者数減少のため、健診会場の集約を進める必要がある。 ・温海地域は高血圧などの生活習慣病の割合が全市平均より高いので、市民への周知と個別の指導を行う必要がある。	いきいき健康つるおか21プラン(令和7年度からの計画)に基づき、 ・生活習慣病を予防する第一歩となる住民健診と保健指導を身近に受ける機会提供として、集団健診の実施に取り組む。 ・鶴岡市認知症予防重点地区の指定を受け、認知症について正しい知識の普及啓発と相談に取り組む。 ・健診会場の集約について検討する。 ・生活習慣病の予防について、周知と個別の指導を行う。	市民福祉課
	健康診査事業 (継続)								
34	障害者が自立して暮らせる地域共生社会の実現 (障害者地域生活支援の環境整備)	市	障害者の社会参加を進めるため、タクシー券(@500円×36枚)、又はガソリン券(@500円×18枚)を交付し、利用料金等の一部を助成する。 ※対象者：身障1級～3級、療育A、精障1級の手帳保持者 48名の方が未申請。	23,891 (市全体)	交付対象者は左記手帳所持者で、温海地域の対象者数は210名(令和7年1月末現在)。申請率は67.6%。48名が未申請。 申請状況：タクシー券 73名 福祉給油券 69名 ・タクシー利用料金または自家用車の給油料金の一部を助成し、障害者の社会参加を促進し福祉の増進を図った。 ・新規の交付対象へ、手帳受取時に概要を説明し申請を受けている。 ・温海地域の未申請者のうち対象(令和5年度交付者及び令和4年度以降手帳取得者)を絞り、12月下旬に交付申請を促す文書を送付した。未申請者について、随時申請を受け付けている。	○	【評価】 ・未申請者へ12月下旬に交付申請を促す文書を送付したが、申請に至らなかった。 ・長年継続している事業であり多くの対象者は事業を認知していると推測されるが、申請は減少傾向にある。 【課題】 対象者のうち高齢者が80%を超えているため、障害福祉のサービス自体を理解せずサービスにつながっていない対象者の把握が必要である。	新規手帳取得者で交付対象となる方へ、手帳受取時に概要を丁寧に説明し理解を得たうえで申請につなげる。 未申請の方からも随時申請を受け付けるとともに、別件で来庁された際に、申請状況を確認し対処する。	市民福祉課
	重度心身障害(児)者社会参加促進事業 (継続)								
35	高齢者が健康で生き生きとした地域の実現 (介護予防の充実と社会参加の促進)	市	公民館等の施設を活用し、体操等の介護予防活動を主体的・継続的に実施する団体に補助金を交付し、高齢者の健康の維持増進を目指す。 補助要件：月2回以上の活動、年4回外部の専門職から指導を受ける等	3,250 (市全体)	今年度受付分 ・申請件数6件(6団体、99人) ・交付決定6件(うち新規1件) ・地域包括ケア推進課と包括あつみ職員と各団体へ視察。 ・新規の相談を随時受け付ける。	◎	【評価】 6団体が計画通りに月2回以上の活動を行った。	・地域包括ケア推進課と包括あつみ職員と各団体へ視察。 ・新規の相談を随時受け付ける。 ・手続き等の支援を行う。	市民福祉課
	つるおか元気アップ支援事業(地域介護予防活動支援事業補助金) (継続)								

※達成度…◎達成、○概ね達成（概ね順調に進んだ）、△予定より達成できなかった、×達成できなかった

NO	総合計画または地域振興計画上 の位置付け	事 業 主 体	事 業 内 容	R6事業費 (千円)	令和6年度取組実績 (年度末見込み)	取組評価		令和7年度取組予定	担当課
	事 業 名					達成度	評価・課題		
36	高齢者が健康で生き活きとした地域の実現 (地域生活を支える体制の充実)	市 事業実施 団体	在宅での生活に支障がある高齢者に、一定期間住居を提供し、各種相談、助言及び緊急時の対応を行う。 (温寿荘内生活支援ハウス)	3,876	利用状況 6月 利用者1人 利用日数延べ 6日 7月 利用者1人 利用日数延べ 31日 8月 利用者1人 利用日数延べ 31日 9月 利用者1人 利用日数延べ 30日 12月 利用者3人 利用日数延べ 89日 1月 利用者5人 利用日数延べ145日 以下見込 2月 利用者5人 利用日数延べ140日 3月 利用者5人 利用日数延べ155日 計 利用者6人 利用日数延べ627日 昨シーズンは暖冬で残雪もなかったことから、4月の利用はなかったが、夏季の避暑利用があり、昨年度と同等の利用状況の見込み。	◎	【評価】 夏期間1人、冬期間5人の利用があった。 【課題】 初めての利用者においては、環境の変化から認知症状の悪化が懸念される場合への対応が必要である。 また、多くの利用者が単身世帯だが、伝染力の高い疾患に感染した場合、自宅療養が必要となる。	・避暑利用（7～9月末まで）と越冬利用（12～3月末または4月末まで）を予定しているほか、緊急に対応する案件（虐待など）が確認された場合の一時避難所としての利用。 ・利用者へ感染予防対策の周知。	市民福祉課
	高齢者施設運営事業（高齢者生活福祉センター運営業務委託料） (継続)								